

旧国分寺西小学校区コミュニティのこれから



↑ぴかぴかの新しい調理室です。



国分寺西小学校は閉校したけど、その形を変えても大切な地域コミュニティは残ってほしいよね。たんぼぼ館が地域の人とのコミュニケーションの場になって、たんぼぼの花みたいな笑顔がいっぱい見られたら良いなあ!

近藤さんは、閉校後の旧国分寺西小コミュニティは姿西部考古台地コミュニティ推進協議会で受け継いでいきたいと言います。

まだ新型コロナが収まってはいませんが、たんぼぼ館はカラオケやお雛子、隣接する体育館での卓球大会やクライミングなど、できることは沢山あるので、地域コミュニティの核としていろいろな交流が生まれる場所にしたいです。住所の市内外問わず使用できるし、新しく整備した調理室もあります。企業の研修会や同窓会など活用方法はいろいろです!



国分寺西小学校は1880年(明治13年)に川中子小学校分校国分学校として創立し、1924年(大正13年)に現在地へ移転、国分寺尋常小学校・国分分教場となった後、1955年(昭和30年)に国分寺町立国分寺西小学校として独立しました。



吉田西小学校区と二つのコミュニティ

2022年(令和4年)3月に伝統ある吉田東小学校・吉田西小学校が閉校し、4月に「南河内小中学校」への統合を控える吉田地区。その中でも、吉田西小学校区には子どもを中心としたコミュニティが複数あると聞き、取材に伺いました。

吉田地区では令和元年に市民活動検討委員会が16の自治会により発足し、現在コミュニティ推進協議会の設立のための合意形成を図っています。

今回取材に伺った方

川井 保明 氏

吉田地区の剣道場「養心館」の師範であり、吉田西小学校PTA会長(2021年(令和3年)現在)。地元で農業を営む。様々なコミュニティに関わりがあり、学童野球のOBでもある。



つながッテルね! 条例11条

(子どもの参画)

第11条 市民、議会及び市は、子どもを下野市の未来を担う地域の宝として育てるとともに、子どもがまちづくりに参画する機会を積極的につくり、その意見を尊重するものとする。